

磐城中正新報

發行日 每月二回 十五日
定額 一月 金拾錢
郵税 共 一部 金拾錢
廣告料 普通開十二字詰一行
一回八十錢 場所指定
同二十錢増
印刷 安澤榮作
發行所 磐城縣平町新報社
編輯 安澤榮作

菅の澤道路開鑿の 恩人に記念碑建設

櫻花爛漫の候に除幕式

發起人は 木澤常松氏外廿名

平町研古町から久保町を經て好間村に通ずる菅の澤道路は今より四十八年前に開鑿されたもので其の當時は長坂を迂回真に不便極りなきを當町鹽屋の先代山崎與三郎氏外左記の人々に依り發起され幾多の困難と努力を費し遂に今日の如き道路を開拓されたのである此の偉大なる恩恵を後昆に傳ふべく七百圓の豫算を以つて記念碑を建設し來る四月の候に除幕式を舉行の由であるが當時の發起人並に記念建設趣旨書は左に

開鑿發起人は
先代山崎與三郎、志賀竹次郎、佐々木佐太郎、端山正男氏嚴父、神谷辰五郎氏嚴父(以上故人)綿引秀親氏叔父長谷部、吉村喜代治の七氏
菅ノ澤道路開鑿記念碑建設趣旨書
晩近世運ノ進展ニ從ヒ道路モ亦大ニ發達シ交通至便ヲ見ルニ至リ昔時險惡

勉メ漸ク工事ヲ繼續シテ翌年九月辛ジテ竣工ヲ告ケ同月廿二日簡素ナル開通式ヲ舉行シタリト云フ爾來交通益々頻繁ニシテ至大ノ便利ニ浴ス之レ寔ニ其當時發起者諸氏ノ苦心努力ノ賜ニシテ地方文化ニ貢獻シタル功勞ハ實ニ没スベカラズ、今ヤ開通後物變リ星移リ殆ント五十年ノ久シキニ及ビ自然其當時ノ發起者ノ功績ハ遂ニ煙滅ニ歸センコトヲ遺憾トシ茲ニ發起者相謀リ各位ノ御贊助ヲ得以テ菅ノ澤道路開鑿記念碑ヲ建設シ以テ其事績ヲ後代ニ傳ヘントス冀クハ應分ノ御寄附アラシム事ヲ

追白
其當時道路開鑿費ノ内ヘ御寄附セラレ其筋ヨリ表彰狀又ハ感謝狀等ヲ受ケラレシ御所有ノ方ハ設立委員長迄御申出テ相成度
昭和六年二月
建設設計費概算
金七百圓也 總工事費
内 譯
金壹百參拾圓也
仙台石(高八尺五寸 幅三尺八寸)
金壹百七拾圓也

- 發起人
平町研古鎮治町區長 木澤常松
同代理 淺井忠市
屋島廉輔
白土勝治
佐々木節次郎
橋本喜平
菅野永太郎
佐藤繁次
永山富廣
大谷要次郎
白土正藏
小野定七
久保木林之助
研町古鎮治町青年分團代表 大寶寺住職 藤原英純
磯貝豐九品寺住職 遠藤心光
久保町 永山和 先景寺住職 國田德應
久保町區長 永山義太郎 天理教磐城平分教會長 平澤信通
同代理 會川延太郎
古田部春吉
青木榮吉

平窪村會の議決に

縣は果して認可するか
前村長木田氏に
回收不能の預金辨償問題

平窪村會では同村の基本等であるが斯る預金は本部財産金三千四百餘圓を前村下では頗る多く平町を筆頭好間村長 金成淺治 三坂澤渡組合村長 田子英吉 永戸箕輪組合村長 高萩正一 好間消防組頭 阿部佐平 永戸消防組頭 佐藤清司 澤渡消防組頭 川角兼吉 長橋町區長 長瀨富彌 材木町區長 馬目玉彌 紺屋町區長 渡邊貫一 一丁目區長 廣木榮之助 山崎孝之助 梅原利三郎 平澤勝次郎 酒井政之助 赤塚勇吉 伊藤重善(亡) 縣へ議決認可を申請の

平陽女學校の生徒募集

平陽女學校は實業學校である各料の募集人員は本科 二ヶ年卒業 五十名 師範科 同 五十名 技藝高等科 同 五十名 同速成科一ヶ年卒業三十名 同専攻科 同 二十名 以上

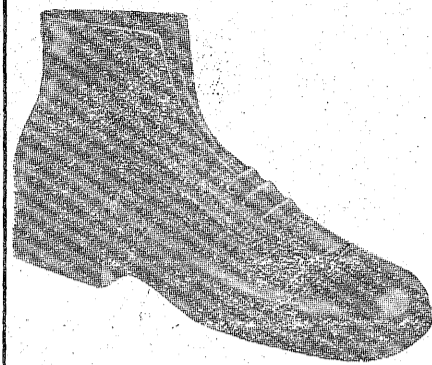
壯觀を極る 四倉の火打合

磐城名物の一に數いらる、四倉町の火打合は數日前から練習中であつたが愈々昨廿八日の夜より三日間に亘り同町海岸に於て東西兩軍に別れ炎々と燃ゆる薪を双方より投げ合い打ち合ふ龍攘虎搏の大活劇は眞に天下の一大壯觀で今一日は中日に相當折柄の月明で地方より汽車自動車等を利用して同海岸へ押し掛けるので四倉町は海水浴以上の大雜踏を呈すべく消防組は總動員で警戒に當る等同町海岸は全く火の海、人の山と化するであらう尚平町自動車組合並に四倉町の各自動車營業者は車輛を増して觀衆の便宜を圖る由

- 荒川恒次郎 同
遠藤忠治 同
屋島廉輔 會計
白土正藏 平古鎮治町
永山富廣 同 山崎清三
菅野永太郎 同 神谷亥三雄
久保木林之助 同 吉村安次郎
- 賛助員
平町長 伏見彦衛
平消防組頭 井上茂作
平青年團長 藤田榮助
好間村長 金成淺治
三坂澤渡組合村長 田子英吉
永戸箕輪組合村長 高萩正一
好間消防組頭 阿部佐平
永戸消防組頭 佐藤清司
澤渡消防組頭 川角兼吉
長橋町區長 長瀨富彌
材木町區長 馬目玉彌
紺屋町區長 渡邊貫一
一丁目區長 廣木榮之助
廣木榮之助の兩日に抄る同村會では種町村長に萬一辨償の責任ありとせば其の影響するとこりて「右の三千四百餘圓を回收不能に陥つた場合は市會の決議を経て平町警城銀泉其他で總額は十數萬圓に於て預金せし昭和三年五達してゐるが市町村會の議決を経て銀行へ預金した公債の處回收不能の狀態とな金が其の銀行の休業により渡邊貫一が去十九、二十日回收不能に陥つた場合は市會の決議を経て平町警城銀泉其他で總額は十數萬圓に於て預金せし昭和三年五達してゐるが市町村會の議決を経て銀行へ預金した公債の處回收不能の狀態とな金が其の銀行の休業により

平、下市萱間 自動車時間改正

平、下市萱間自動車開通に



可愛お子様の新入學と進級お祝ひに

最高の品質!!
最低の値段!!

の御用命は弊店へ

各官衙、學校、會社、銀行
炭礦、鑛山、御用達

平町搔榎小路
仙台屋靴店 廣部太夫 主店

募集廣告

一、和洋家具製作見習 五名
一、家具漆器商小店員 三名
本年尋常又、高等科卒業者
右御希望者は御來談願います

本丸ほん

平町三丁目
電話一三五九
一八二

科 (1)本科五十名 (2)裁縫專修科百名
(3)師範科三十名 (4)專攻科二十名
別 (5)二年編入補欠若干名

文部大臣認可 藤田女學校生徒募集

其 ▲希望者ハ至急願書提出ノ事
▲詳細ハ本校宛學則請求ノ事

昭和六年三月
福島縣平町
藤田女學校
電話三二八番

眼鏡の値下げ

三一年式尖端を切る
各種眼鏡の驚異的値下げ
來つて弊店の勉強振りを
見られよ

平町町有聲座前
秋山時計店
眼鏡部

昭和六年
復興三年 生徒募集

校舍増築
第一學年 壹百廿名
第二學年 若干名
入學資格 小學校卒業以上
出願期日 四月六日迄
新學期開始 四月六日
(規則書申込次第進呈)
磐城平町城山

磐城青年學校

生徒募集

◎婦人にも職業の必要な時代が参りまじ
たとして婦人に最も
ふさわしい職業は
産婆と看護婦
でしやう
◎御希望の方は最も
成績の良い當校へ
◎申込期日は四月
五日迄
平南町
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ
電話三〇七番

雨露に晒す程 強く大なる煙突

煙突は 朝日

石綿セメント製

朝日煙突

絶対に はせたい!!
やけたい!!
くさりたい!!
経済的で 火災の心配がたい

金屋商店

産婆看護婦生徒募集
願書は四月八日迄(可成至急)
修業 産婆看護科を通じ
年限 一ケ年
平町一丁目
石城産科婦科看護學校
電話二五七番

平 方 圓 堂 三 千

磐城 病院案内
本院は時局に鑑み入院
料並に往診料左の通り低
減致候間御参考迄申上候
入院料 一般 金貳圓也
一 日 本會員金壹圓五十錢
往診料 限リ、一般金三圓也
平町本會員金二圓也
尚地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也

各科 内科 小兒科 産婦 女子泌尿科
外科 皮膚泌尿科 整形外科 耳鼻咽喉科
× 光線科 (物理學的診療科)
院長 醫學博士 難波 睦
本院主管 賀澤 忠治
本院 救療を申込る、方は當
院內 相談所へ御話し下さい
衛生試驗所 本院
病氣相談所 本院
救療所 院內
看護婦 集 磐城共濟會 (磐城平町)
電話六四一(番)